

水戸労働基準監督署が熱中症予防のための緊急パトロールを実施しました！

令和4年7月1日

水戸労働基準監督署（署長 小室順）は7月1日、茨城町で施工中の（株）フジタ関東支店（仮称）エンビジョンAESCジャパン国内新工場建設工事現場において熱中症対策に係る緊急パトロールを実施しました。

管内の熱中症による死傷災害は、例年7月から増加し始めますが、今年は梅雨明けが早く、厳しい暑さが続き、熱中症によるリスクが高まっています。

パトロール当日は最高気温が35℃を超える猛暑日であり、測定器を用いて現場のWBGT値を測定したところ31℃を記録し、こまめな水分補給、休憩を取らなければ体調に支障をきたす危険な暑さであることがわかりました。



パトロール先の工事現場では、「常時WBGT値を測定して現場に表示を行う」、「休憩場所に製氷機を置く」、「熱中症アラート警報リストバンドの導入」など、様々な工夫を凝らした熱中症予防対策を行っていました。

また、外国人労働者に対する熱中症対策として、複数の言語に対応した熱中症予防のポスターを作成し、注意喚起を図っていました。

写真右上は、同作業所の奥山副所長（右）より対策を聞く深津安全衛生課長（左）。写真左下は、作業所に掲示された外国語の熱中症対策ポスター。

水戸署では、今後もWBGT値に基づき熱中症の発生リスクを適切に把握して予防対策に結び付ける取組を促進するよう呼び掛けていきます。

【連絡先】水戸労働基準監督署 電話 029-277-7916